

# 日本燃焼学会誌原稿執筆要領

(平成 14 年 1 月 26 日制定)

(平成 21 年 5 月 16 日改定)

## 1. 言語

日本語または英語とする。

## 2. 原稿長さ

投稿論文（原著論文・解説論文・技術報告）の長さは論文投稿規定に従う。投稿論文以外の記事は、図表を含めて刷り上がり 8 ページ以内を原則とする。

## 3. 形式

(投稿論文)

- 1) 日本燃焼学会ホームページ (<http://combustionsociety.jp>) に公開されたテンプレートに従うことを推奨する。A4 サイズ白紙にワードプロセッサを用いて印字する。テンプレートに従わない場合はダブルスペースで印字し、図表は別紙とする。
- 2) 和文論文においては、題目、著者、所属機関、所在地を和英で、英文論文においては英語で表記する。代表著者を※印で示す。
- 3) abstract を 300 語までの英文で記述する。
- 4) 数個の keyword を英語で付与する。
- 5) 見出しはポイントシステムに従い、
  1. …
  - 1.1. …
  - 1.1.1. …のようにする。
- 6) 単位は原則として SI 単位を用いる。
- 7) 数式は、ルート記号を用いず指数表記とする。本文中の分数表記は ( / ) を用いる。
- 8) 図表はモノクロームを原則とする。カラー図表を掲載することが出来るが、経費（実費）は著者の負担とする。
- 9) 図表のキャプションは英語とする。
- 10) 注は右肩に(\*)で示し、脚注はそのページの下欄に書く。
- 11) 文献は引用箇所に [1] のように通し番号で示し、本文末尾にまとめて全て英字で記す。記述方法はテンプレートの例に従う。
- 12) 日本燃焼学会ホームページ (<http://combustionsociety.jp>) に公開された「投稿論文表紙」に必要な事項を記入して原稿に添付する。

(投稿論文以外の記事)

投稿論文の形式に準ずるが以下の点が異なる。

- 1) 「投稿論文表紙」は不要である。
- 2) 図表のキャプションは日本語で記してよい。
- 3) 本文末尾にまとめる文献のうち、和文文献は日本語で記してよい。